



都立府中療育センター新聞 第453号 発行日 平成27年8月31日

第19回地域療育講習会

医療社会事業担当係 武田 祥和



7月23日(木)多摩総合医療センター「フォレスト」において、地域の療育関係者を対象とした第19回「地域療育講習会」を開催しました。この講習会は当センターで培われてきた療育経験から得られた知見や提案を、地域で重症心身障害児(者)の療育に携わっている多くの方々に役立てていただきたいという趣旨で平成19年から実施しています。今回は、当センターの「痙縮治療チーム」(平成25年発足)メンバーの医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士及びMSWが講師となり「ボツリヌス毒素療法におけるQOL改善とその限界～療育におけるチームアプローチの重要性～」と題して、ボツリヌス毒素療法の基礎的な説明と当センターでの実際の治療場面や、目標設定と多職種連携の重要性について症例報告を交えながら説明を行いました。

ボツリヌス毒素療法とは、ボツリヌス菌が産生する「ボツリヌス毒素」を筋肉内に注射することにより、本人の意思に反して筋肉が異常に収縮してしまい、突っ張る、動かしにくい、痛みがあるなどの本人の不快感や不自由さを軽減する治療のことです。

この治療の最終目標は、単に筋肉を緩めることでなく本人のQOL向上や介護者の負担軽減です。そのことを忘れないためにも、治療に当たっては「なぜ行うのか」という目標を絶えず明確にする重要性が強調されました。そして、多職種が各々の視点を持ち寄り、連携して治療を行うことで成功に結びついていったということがわかりやすく紹介されました。

当日は、療育分野の関係機関から、医師、看護師、介護職、理学療法士、作業療法士、特別支援学校の教員など幅広い職種の方々83名が受講してくださいました。

質疑応答では、参加者から「ボツリヌス毒素療法は誰にでも効果があるのか」、「どのくらいの期間継続すべきか」など多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。ボツリヌス毒素療法は重症心身障害者の緊張亢進を改善する一手段であり、医師一人ではなく、多職種が集うセンターの職員がチームとして取り組めることが一番であることを強調し、チームでなければ客観的な評価は成し得ないことなど理解が深まったようです。



夏祭り特集2



1-A病棟

保育士 石川 さをり

今年の1-A病棟の夏祭りは「お御輿・山車」と「盆踊りと太鼓」の2部構成で行いました。

京都の祇園祭の大船鉾をイメージした山車（若干釣り船のようですが）と花御輿の2基を制作グループなどの活動で作りました。鳳凰も加わり、かなりの力作です。（センター祭りで展示予定です。）

夏祭り当日は甚平に着替え「祭り男衆」に早変わり。まずは1階から笛や太鼓に合わせて「わっしょい、わっしょい」と威勢よく練り歩きました。廊下に出ると、沢山の方が声援を送ってくれたので、山車や御輿をひく手に力が入ります。2階、5階では何人かの方にお御輿を担ぐ体験をしてもらいました。そして、皆さんの健康と感謝を込め、三本締めで病棟訪問を締めくくりました。

病棟では民謡に合わせて大きな和太鼓を順番にたたき、夏祭りの雰囲気を感じます。最後に、全員で輪になって「東京音頭」と「炭坑節」を踊りました。毎日、DVDを見ながら練習を重ねてきた成果がでて、みんなの素敵な笑顔と踊りを見ることができました。

そこで利用者の方から一句

「手作りの 山車を引っ張り 院内を」「妹に 連れられ山車引く 大廊下」



2-B病棟

保育士 寺栖 明

美



今年の夏は、猛暑が続きました。その暑さの中、民謡や踊りの曲を聞きながら気持ちの準備をしていました。

8月19日、いよいよ「夏祭り」の日がやってきました。病棟は利用者の方の名入り提灯がかけ、「炭坑節」「東京音頭」に合わせ太鼓を叩いたり手拍子で盛り上がりました。

「千本つり」「的当て」のゲームコーナーは、大盛況。「千本つり」の紐の先には、ようかん・スナック菓子・ラムネ・シャボン玉・ヨーヨーがあり、希望の物を引き上げるための作戦会議が始まりました。「的当て」コーナーは、一人ピンポン玉2投でしたが、力の加減が難しく的に当たりません。これから練習して、腕を磨いていこうと思います。

他病棟の方も大勢遊びに来てくれて楽しいひと時を過ごす事が出来ました。





夏の企画 ‘夏まつ

指導科 丸山 秀子

7月29日(水)、7月30(木)の2日間、‘夏まつり’をテーマに「指導科行事・夏の企画」を行い、夏ならではの演出で、涼しさを感じられるひとときを提供しました。

一日目は屋外にて、水鉄砲の的あてやうちわ作り、飲み物コーナー、そして水族館コーナーを開催しました。水族館コーナーは、「葛西臨海水族園」の移動水族館を行いました。トラックに乗った大型水槽(南国の魚や東京湾の魚等)と、ヒトデやウニ・カニなど磯の生き物と触れ合うタッチプールが設置され、色々な海の生き物を見たり触れたりすることができました。また、病棟に訪問をして、ベットサイドやデイルームでも海の生き物と触れ合うことができました。

水族園スタッフの方がとても丁寧なガイドをしてくださり、利用者の皆さんは、間近で海の生き物を見たり、触ったりと普段では経験できない刺激的な体験をすることができました。利用者さんをはじめ、保護者の方、その他多くの皆さんが来場されて、1日で400名以上の来場数があり、賑やかな夏のひとときを楽しみました。

二日目はあじさい館にて、盆踊りやカラオケ、屋形船から見る隅田川の花火、その周辺にある観覧車やスカイツリーなどの東京の夜景をイメージして癒しの今宵を作り上げました。

グラウンドでの催しは、準備中の急な雷雨で中止となりました。その為、来られない利用者の方等を考慮し、急遽職員とボランティアさんで浴衣・甚平に着替え各病棟や通所へ行き「訪問盆踊り」を決行し、楽しんでいただくことができました。そして雨が上がり、あじさい館には数名の利用者の方が来られて、‘夏まつり’を僅かな時間でしたが過ごしていただくことができました。「夏の企画」を開催するに当たっては、多くの方々のご協力を頂きありがとうございました。



「東京都食品衛生自主管理認証制度」における認証が更新されました!

栄養科 調理師 竹内 正充

東京都食品衛生自主管理認証制度とは、食品取扱施設の自主的な衛生管理を第三者が確認し、優れた衛生管理を行っていることを認証する東京都独自の制度です。

当センターでは、平成26年7月23日付で新規の認証を受けました。そして、今年の6月には、第1回目の更新審査を受け合格しました。

認証書には、「あなたの施設は、東京都食品衛生自主管理認証制度実施要綱の規定に基づく審査の結果、認証基準に合致した衛生管理を履行していることを、認証します。」と記載されています。当センターは、本認証制度でも承認されている衛生管理マニュアルを定めて、日々衛生管理の行き届いた食事づくりに努めていますが、新しい認証書を見ると、改めて心が引き締まる思いがします。

これからも、衛生管理の徹底を推進するとともに、おいしく安全で安心な食事提供に努めていきたいと思っています。



武蔵台文化センターまつり

指導科 目黒 由美子



7月18日(土)隣接する武蔵台公園にて第39回武蔵台文化センターまつりが開催されました。昨年は、雨天のため中止となり2年ぶりの参加となりました。指導科は恒例の「綿あめ」で出店しました。

当日は不安定な雲行きでしたが、日中は涼しいこともあり、利用者61名、家族11名、職員50名(延122名)の方が足を運んでくれました。白・ピンク・ブルー・グリーンの綿あめを求めて長蛇の列が出来るほどの盛況で、休むことができないほど注文がありました。利用者の方たちは、色

を見たり、少しずつ舐めてみたり、香りを嗅いでみたりと綿あめを楽しんでいました。

夕方には、近隣の方たちも、綿あめを買いに来てくれました。親子連れの方が、「頑張って待つぞ!」「オー!」と、こちらも励まされるほのぼのする姿も見られていました。20時には販売も終了し、過去最高の600本を売り切ることが出来ました。売り上げは、武蔵台地区の「コミ協提出金」に寄付されます。今後も利用者の生活体験の場を広げ、地域との交流を通して、センター事業に対しての住民の理解と協力を得られるように参加していきます。



ボーリングの思い ～利用者の方からの感想～

七月八日に生まれて初めてボーリング場に行きました。あいにくの雨模様でした、西国分寺までバスで行きました。

その後に食堂でお昼ご飯を食べました。僕はセンターじゃ出ないたらコスパゲティーを頼みました。普段食べられないのでとっても美味しかったです。それから電車に乗って府中本町まで行きました。駅の人がとても親切にしてくれましたのが印象に残っています。

そしてボーリング場につきました。そしてボーリングのゲームをしました。H君と僕の組み合わせでゲームをしました。結果は1対1の引き分けでした。でもとても楽しい一日でした。

出来たらまた行きたいと思います。

「(ボーリング) おもしろい」
「でんしゃ 2かいめ」
「すとらいく (が出てうれしかった)」
「ぼーりんぐ はじめて」
「2016ねん (も行くのが) ゆめ」



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>